



別紙4(2)9

目標達成計画

事業所名 : グループホーム鶴ヶ島

作成日 : R6.3.6

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	終末期に入った段階で家族と話し合うことは実施できているが、本人の意思確認が出来る早い段階でのACPの取り組みが不完全である。	重度化、終末期に対する意向確認の頻度を上げ、ご家族にもACPの在り方を詳しく、丁寧に随時説明出来るようになる。	提携医や薬局と連携しACPの在り方や必要性について勉強会を開催し、事業所が「終の棲家」としての環境を整える。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。